

---

## 日野地区まちづくり計画(第2期)

---

平成30年3月

よいとこちがうか日野の里



# 日野地区まちづくり計画 目次

1. 計画の目的	p.1
2. 日野地区の現状	p.1
3. 計画策定の経緯	p.2
3-1. 第1回委員会「地域の現状の把握」	p. 3
3-2. 第2回委員会「これまでの計画の整理」	p. 5
3-3. 第3回委員会「人口動態の確認   取り組むべき課題の抽出」	p. 10
3-4. 第4回委員会「取り組むべき課題の重要度の評価」	p. 18
3-5. 第5回委員会「基本方針素案の確認   キャッチコピーの検討」	p. 24
3-6. 第6回委員会「計画案【素案】の検討（地区でできそうなこと）」	p. 26
3-7. 第7回委員会「計画案【素案】の検討（意見交換）」	p. 30
4. 日野地区まちづくり計画	p.32
(1) 住民参加のまちづくり 「あったらいいな を形にしよう 日野の里」	
(2) 全ての世代が住み続けたいまちづくり 「おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里」	
(3) 子どもたちが誇りを持てるまちづくり 「おらが里 自慢できる日野の里」	
(4) 安全で安心で暮らしやすいまちづくり 「おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里」	

## 1. 計画の目的

西脇市は、市民と行政が一緒になって、それぞれの責任と役割を分担しながら、共に考え、共に行動し、住みよいまちづくりを進めていく「市民主役のふるさと運営」を展開しています。

平成 25 年 4 月には、西脇市自治基本条例が施行され、まちづくりを行政が主導するのではなく、市民と行政がパートナーとして協働しながら、市民が主役になってまちづくりを進めるための基本ルールができあがりました。

日野地区では、自治基本条例に先立つ平成 17 年より、地域住民を主体とした日野地区まちづくり計画策定委員会「よいとこちがうか日野の里」を組織し、1 年以上にわたる計画検討の末、平成 19 年 2 月にはまちづくり計画を完成させました。

この計画では、地元住民や各種団体などと行政がパートナーシップにより、ともに取組むべきものとして「参画と協働」のまちづくり理念のもと、今後どのようにまちづくりの活動をしていくかが描かれており、この計画の実現に向け、日野地区では、継続的なまちづくりの取り組みを続けてきました。

このまちづくりの取り組みにより、日野地区ではいくつかの成果を上げてきましたが、まちづくり計画の策定から 10 年を迎えるにあたり、計画策定当時とは地域を取りまく社会情勢にも変化が生じていることから、新たな地区まちづくり計画を策定することとなりました。

## 2. 日野地区の現状

私たちの住む日野地区は、西脇市の北部に位置し、面積は 13.57 平方 km で西脇市の約 10% を占めています。地区の中央を南北に流れる杉原川とその両岸に広がる農地や宅地からなる平野部と丘陵部につながる東西の丘陵部から形成されています。

地区の北側は自然豊かな田園地帯が広がり、南側は、西脇地区に隣接して市街地が形成され市役所をはじめとする公共施設や商業施設が立地しており、地区の南北で異なった土地利用となっています。

日野地区の平成 30 年 1 月現在の人口は 6,490 人で西脇市の 15.8% を占めています。

人口の推移を見ると、昭和 55 年に 7,852 人であったものが、平成 19 年には 7,502 人となり約 4.5% 減少しています。さらに、10 年前から比較すると約 13% 減少し、人口減少が加速しています。

日野地区には多くの地域資源が存在しており、地区の中央を流れる杉原川は古くから生活に密着した河川として地域の人々に親しまれておりその両岸の丘陵部にはキャンプ場や森林公園などの野外レクリエーション施設が整備され、身近に自然環境とふれあうことができます。また、西田町の西仙寺や小坂町の春日神社、大木町の日目一神社（あまのめひとしじんじゃ）・平野神社、市原町の妙覚寺、前島町の日満宮など数多くの神社仏閣があり、歴史文化が継承されています。

地域が抱える課題として、国道 427 号沿いを中心に、南部には商業施設や事業所が多数ありますが、北部では集落と事業所が点在している状況です。

公共交通は、南北に国道 427 号が通っており、日野地区の重要な道路路線となっております。多可町が運行するコミュニティバスの一部は、多可町と西脇市を結ぶ「西脇直行便」と「加美直行便」があり、いずれの便も、多可町から市原町と小坂町を通り、バスターミナルや西脇市駅などの市内の重要な停留所を結んでいます。

また、防災面の対策、高齢者や子どもの見守り、少子高齢化や人口減少によるコミュニティの希薄化など、解決すべき課題も見えてきています。

### 3. 計画策定の経緯

以上のような背景により、日野地区の今後の10年に向け、新たに顕在化してきた地域課題を見直し、これらの課題を解決していくために「日野地区まちづくり計画」を見直し、「第2期日野地区まちづくり計画」を策定することとしました。

計画策定にあたっては、地域住民で構成される地区まちづくり計画の策定委員会「よいところがか日野の里推進委員会」を組織し、下記のように「第2期日野地区まちづくり計画」について1年間の検討を行ってきました。

#### まちづくり計画再編会議の経過

開催日	テーマ	会場
第1回 平成29年6月27日	日野地区を知ろう	サンパル日野
第2回 平成29年7月25日	前計画の評価 人口減少時代の地域のつくり方について	サンパル日野
第3回 平成29年8月25日	こんな日野地区をつくりたい	サンパル日野
第4回 平成29年9月25日	まちづくりの進め方の検討① どんな取り組みが可能か	サンパル日野
第5回 平成29年10月25日	まちづくりの進め方の検討② 誰がどんな取り組みをするか	サンパル日野
第6回 平成29年11月22日	まちづくり計画のまとめ	サンパル日野
第7回 平成29年12月25日	計画の素案検討	サンパル日野
第8回 平成30年1月31日	最終計画案の発表	サンパル日野
平成30年2月25日	先進地視察「梁瀬地区」	朝来市



### 3-1. 第1回計画策定委員会での検討「地域の現状の把握」

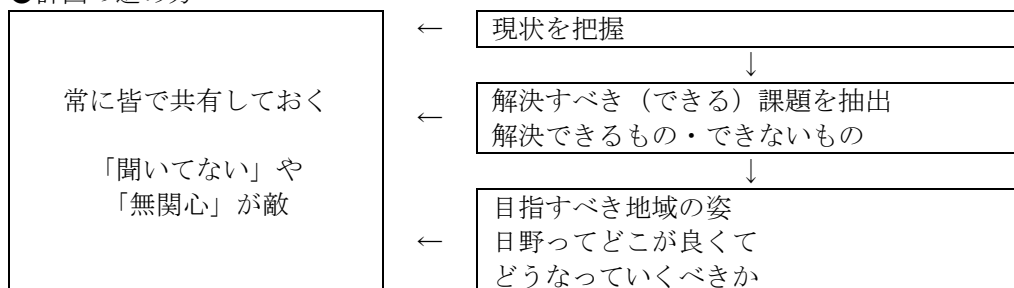
第1回のまちづくり計画策定委員会では、アドバイザーの提案のもとに、まず計画のスケジュールについて検討することとしました。合わせて、地域内の年間の行事をリストアップする作業を行いました。

#### ●計画のスケジュール | 年間の行事

時期	計画づくり	地域の行事
4月		各地区で春まつり、操法大会（消防）
5月		総会、溝掃除、人権の総会
6月	たくさん アイデア を出す	一本桜保全作業、腰痛予防体操 さのぼり講（田植えのあと） 農業体験（芋植え、田植え）
7月		青少年健全育成講演、納涼祭、人権講演会 クリーン作戦、市外研修、落語会
8月		溝掃除、プール、各町で盆踊り 勉強会8回（大学生が勉強を教える） 月間講演（人権）、地藏盆
9月		小学校の運動会、敬老会（各町） 保育園（地区立）の運動会、こども園の運動会
10月	計画を練る 叩き台を叩く	収穫祭（各町で芋掘り、稲刈り）、防災訓練（各町） 各地区秋まつり（春日郷/平野郷/安田郷の集合社）神主さんが いるのは安田郷だけ
11月		ふれあいフェスティバル（文化祭@小学校） 人権町別勉強会、人権の発表会
12月		神社2社、除夜の鐘、歳旦祭
1月		元旦ようはい登山、わらわら（棒で寺床たたく）
2月	計画完成	駅伝コース美化、クリーン作戦（10Km 杉原川）
3月		地藏一本桜まつり

通年の予定：サンパル日野の管理、小学生のまち探検、各地区お寺の奉仕作業

#### ●計画の進め方



日野のよいところ・できていること → もっとよくなるように考える

日野の悪いところ・解決したい課題 → ちょっとでもよくなるように考える

#### ●日野地区のいいところ、わるいところ

日野地区のいいところはもっとよくなるように、悪いところはちょっとでも良くなるように考えるという方針を確認して、まず、委員会全員で日野地区の「いいところ」と「悪いところ」を徹底的にリストアップすることにしました。

分類	いいところ	わるいところ
自然環境 景観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が豊か（5件）</li> <li>・杉原川がきれい   川がきれい（4件）</li> <li>・水がきれい   蛍が飛ぶ</li> <li>・特に川から見る山が美しい</li> <li>・人と自然を大切にできる</li> <li>・景観がよく空気がきれい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河原への不法投棄</li> <li>・ゴミがよく落ちている</li> <li>・ゴミの不法投棄が多い</li> </ul>
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が元気</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会が元気がない</li> </ul>
若者・こども	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがたくましい</li> <li>・子どもが元気</li> <li>・子どもが安心できるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が少ない</li> <li>・子どもが少ない（3件）</li> <li>・子どもが住みにくい</li> </ul>
住みやすさ 生活しやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可もなく不可もなくそれがいい</li> <li>・日野の里、大好きである</li> <li>・他で住もうとは思わない（=住みやすい）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地がない</li> <li>・店が少ない   商業施設があまりない</li> <li>・魅力の有る施設がない</li> </ul>
人柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割とみんな親切、仲良し</li> <li>・文句を言いながらもやってくれる</li> <li>・お願いすると分ってもらえる</li> <li>・人情が厚い   人情がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力してくれる人と協力しない人との差がはっきりしている</li> <li>・男社会（助成の進出が望まれる）</li> <li>・会合の女性参加が少ない</li> </ul>
地域のまとまり 人間関係 近所づきあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野地区としてまとまっている</li> <li>・近所付き合いが残っている</li> <li>・組織がしっかりしている（協力して行事をこなしている）</li> <li>・人のつながりがいいかな</li> <li>・隣近所仲が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町と町の交流が少ない</li> <li>・行事に特定の人だけの参加になる</li> <li>・自治活動に無関心者が多い</li> <li>・ないようです</li> <li>・活気がいまいち</li> <li>・一つにまとまるのが難しい</li> </ul>
行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭り等地区の行事がある</li> <li>・あいさつが良く出来ている</li> <li>・多くの行事が割と長く続いている</li> <li>・フェスティバルにおいて多くの人が集まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日野フェスの参加人数がまだまだ少ない</li> <li>・新しく来られた人が行事に参加しにくい</li> <li>・校区がちがうので全体の行事に参加できない事がある</li> <li>・行事等がちょっとマンネリ気味</li> </ul>
地区の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなからしくのんびりしている</li> <li>・ナイスビューポイント：1本桜、通称岩滝</li> <li>・一本桜</li> <li>・サンパル日野</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く所がすくない</li> <li>・これという特産品が見当たらない</li> <li>・特色がすくない</li> <li>・地域での生活時間（まちまち）</li> </ul>
安全・安心 防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心ができています</li> <li>・防災安全である</li> <li>・災害がほとんどない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心が不安</li> <li>・杉原川の整備が遅れている</li> <li>・河川の整備がされていない</li> </ul>
交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備がされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路が整備されていない   鉄道がない</li> <li>・座って待てるバス停がない</li> <li>・交通が不便   公共交通が不便（2件）</li> <li>・各施設へ移動するための交通の便が悪い（高齢者）</li> </ul>

### 3-2. 第2回計画策定委員会での検討「これまでの計画の整理」

平成19年に策定された地域づくり計画には当時の「現状と課題」が記載されています。計画の見直し作業のためには、この「現状と課題」を、現時点での「現状と課題」におきかえる必要があります。そこで、皆でこの「現状の課題」がどのように変化しているかについて、検証作業を行いました。その結果は下表の通りでした。

#### 「1. だれもが安全で安心して生活できるまちづくり」について

防犯や防災などに対する配慮など、日常生活において子どもから高齢者までが安全に暮らせる、安心して生活できるまちづくりを進めます。

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考
	○	△	×	続ける	やめる	より充実	
① 防災対策の充実		2.3		1		5	①各町防災訓練実施、火災報告器、AED、炊き出し、防災無線、自主防災組織、避難所の有無 ②防災訓練していない（富田町） ③自主防災組織の立ち上げ・充実、ハード面は行政に要望する ⑤チェックの防災組織立ち上げ（訓練実施） ⑥町により差があり
② 防犯対策・活動の充実		3.3		2		4	①日野地区安全安心部活動、見守り隊、隣近所、青少年補導委員、民生委員からの情報、交通安全対策もテーマにいれたら ②見守り隊、青パト、ネット（ケイタイ）でのチェック、防犯カメラの設置 ③子ども見守り隊の立ち上げ・充実 ④見守り隊等の活動が活発になってきた。高齢者のさらなる協力を求めたい ⑤防犯灯の照度アップ（LED）台数追加 ⑥子ども見守り隊
③ 少子高齢化への対応		1.5		1		4	①見守り隊、民生委員との連携、独居老人・子どもの見守り ②地域では出来ない。子ども園が充実している ③少子化→日野子ども園の創立・充実 ⑤防犯カメラの設置、子どもの見守り対策

## 「2. 生活を支えるまちの基盤を整えるまちづくり」について

日々の生活での利便性を確保するとともに、快適な生活を支える道路や公園等の公共施設の整備改善など、まちの基盤を整えるまちづくりを進めます。

取り組みの方向性	達成度			達成度			達成度
	○	△	×	続ける	やめる	より充実	
① 道路の整備・改善	3.0			2		4	①JR 鍛冶屋線道路化計画中、通学路の整備、交通ルール（通学時間帯）守らない事 ②歩道の整備が遅れている。道が傷んできた ③JR 跡地の道路化の事業化、町内道路の補修、道普請の実施 ⑤JR 跡地の道路の整備、舗装の整備 ⑥歩道の整備
② 水路・側溝の整備改善	2.1					5	②郷瀬の浸水から改善できた。経年劣化している箇所もある。下水が出て来てきれいになった ③農地水環境交付金の活用 ⑤農地用水◎ ⑥大木は充実
③ 公園・キャンプ場等の整備・改善	1.3		—			5	①各町公園の整備、除草など ④人を呼ぶ ⑤公園を使っていない（古くなった）、利用者がいない
④ 生活利便施設の整備・改善	2.2					5	①上下水道、バス、移動販売社、コンビニ ③サンパル日野のリニューアル、公共交通手段の拡充（バス） ④市バスの充実、こども園のバスを病院、買い物等に活用 ⑤可もなく不可もない ⑥公共交通の不便（高齢者）
⑤ 働く場の確保	1.0		—	1		3	②企業誘致ができていない ③健康ランドの閉鎖→後釜がないため、行政に頼るしかない ⑤働く場所が少ない ⑥若者の働く場所が少ない

### 「3. 暮らしのマナーをみんなで守り育てるまちづくり」について

ゴミの問題やペットのマナー問題、交通問題などの身近な課題解決に取り組むことで、快適で住み良い、暮らしのマナーをみんなで守り育てるまちづくりを推進します。

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考
	○	△	×	続ける	やめる	より充実	
① ゴミ問題への対応	3.6			3		3	②ゴミの分別できている、不法投棄見かける ③ゴミの分別、リサイクル活動（廃品回収）の充実 ④ゴミ拾い活動、草刈り実施により不法投棄の減少 ⑤未だ不法投棄することがある→防犯カメラの設置必要
② ペットのマナー問題への対応	2.5			2		4	②マナー良くなっている、野良猫増えた ④犬猫のフン ⑤ペットの排泄物の処理のマナーが悪い
③ 駐輪・駐車・騒音問題への対応	4.0			4		1	②特に問題ない ④若者のマナー、身体障がい者用駐車場への駐車マナー ⑤バイクなどの騒音がある、駐輪・車は◎

### 「4. 地域の誇りを守り、子や孫にひきつぐまちづくり」

地域の資源といえる地域コミュニティや歴史資源、自然環境などを大切にするとともに、地域の誇りとして、未来にひきつぐまちづくりを推進します。

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考
	○	△	×	続ける	やめる	より充実	
① 人と人のつながりの充実	3.3			2		4	①サンバル日野行事が増えている ⑤昨年は充実していた ⑥町により差がある
② 地域の歴史・文化の保存・継承	4.0			4		1	①秋祭り、春祭り、地蔵盆 ④祭り文化 ⑤秋まつり続けている→乗っ子の少子化 ⑥年代により差がある
③ ゆたかな自然環境の保全・活用	3.4			5		1	③溝普請、道普請の実施 ⑤ハイキングコースの整備 ⑥一本桜
④ 身近な観光資源の発掘・活用	2.2			2		3	②観光事業見当たらない、一本桜はいい ③郷瀬一本桜 ⑤コヤノ美術館、観光地らしきものがない

「5. まちの良さを活かし、手をつなぐまちづくり」について

高齢者に対する見守り活動や拠点施設の開放など、まちの良さを活かし、それぞれが連携できる、ネットワークする、手をつなぐまちづくりを推進します。

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考
	○	△	×	続ける	やめる	より充実	
①地域見守り活動の充実	4.2			3			①老人会 ⑤見守り隊の活動が充実されている
②地域のネットワーク化	3.2			2		1	①区長会、月一回の会議 ⑤各戸の防災無線が設置され、ネットワークされている
③公民館の開放・充実	2.8			2		1	①サンパル日野での各活動 ②着物の着付け、ヨガ、パッチワーク（富吉南）無料 ⑤公民館の開放の充実（避難等、他）

「アクション・プラン」について

取り組みの方向性	達成度			今後は？			備考
	○	△	×	このまま続ける	やめる	より充実させる	
1. 防犯対策・活動の充実 誰もが安心できるまちづくり ・安全な暮らしが確保され、だれもが安心して生活できるまちづくりを推進するため、街灯の照度アップ作戦、地域をあげての活動、子どもの見守り対策などを行います。	3.8						③街灯・防犯灯のLED化、子ども見守り隊 ⑤街灯のLED化、サンパル活動が充実されている、子ども見守り対策の充実
2. 杉原川の整備と活用 見直そう 杉原川 2007～w e ラブ♥□杉原川 ・杉原川の自然に親しみながら、世代間や地域内の交流を進めることを目標とし、「桜の名所づくり」や「川まつり」、「リバーウォーク」、「つり大会」などを行います。	2.1						①河川整備活動、草刈り ⑤一本桜の整備化、つりまつり・リバーウォーク・つり大会、やっているのか？

<p>3. 日野地区のネットワーク 日野はひとつ～日野の底ちからをアップさせよう～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の町のことを発信し、年代を超えて会話を広げ、和を大切にす心と自分の町を美しくしたいという思いを日野地区全体に広げていくため、12 町をつなぐウォーキングコースづくり、12 町の地域資源を発見（わが町自慢、日野地区百景など）、日野地区マップづくりなどを 12 町が参加することで進めます。</li> </ul>	1.5			<p>②納涼祭、フェスティバル等で交流している</p> <p>⑤サンパル活用</p>
<p>4. サンパル日野の活用 みんな集まれ！！サンパル日野へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サンパル日野を人が集まり、しゃべることのできる交流の場あるいはサロンともなるよう、施設や設備などハード面での改善、多様な活動を推進するソフト面での改善などを進め、地域活動の拠点として機能させます。</li> </ul>	4.7			⑤皆がんばっている
<p>5. 美しい日野の里づくり（クリーン作戦） ゴミ0は日野の里から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の意識を高め、美しい日野の里をつくる（不法投棄をなくす）ため、ごみマップの作成やごみのリサイクルについての学習、生ゴミからの土づくりなどを通じ、環境と防犯（美しい環境づくりが防犯に結びつく）にまで活動を高めていきます。</li> </ul>	4.0			⑤町毎で取り組みされている

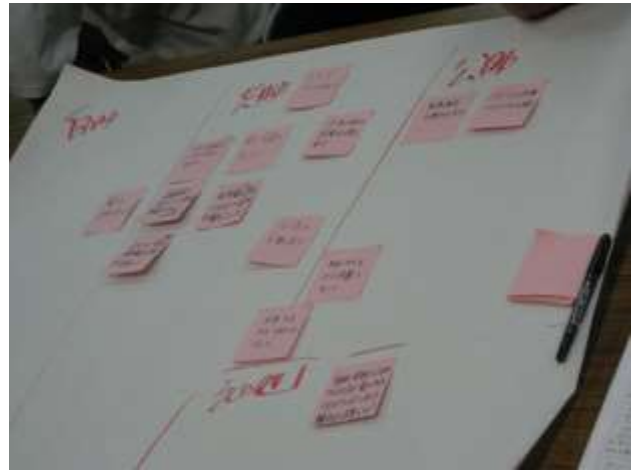
以上のような検証を行った結果、平成 19 年時点での計画には、既に完全に解決した（達成）ものはほとんどないものの、全ての項目についてある程度取り組みが行われていることが分かりました。また、取り組みをやめてもいいことはないことも分かりました。

第 2 期の地区まちづくり計画を検討する際には、こうした検証結果を反映させ、できるだけ分かりやすく、地域の皆の納得のいくような現状認識・課題認識が必要であることを再確認しました。

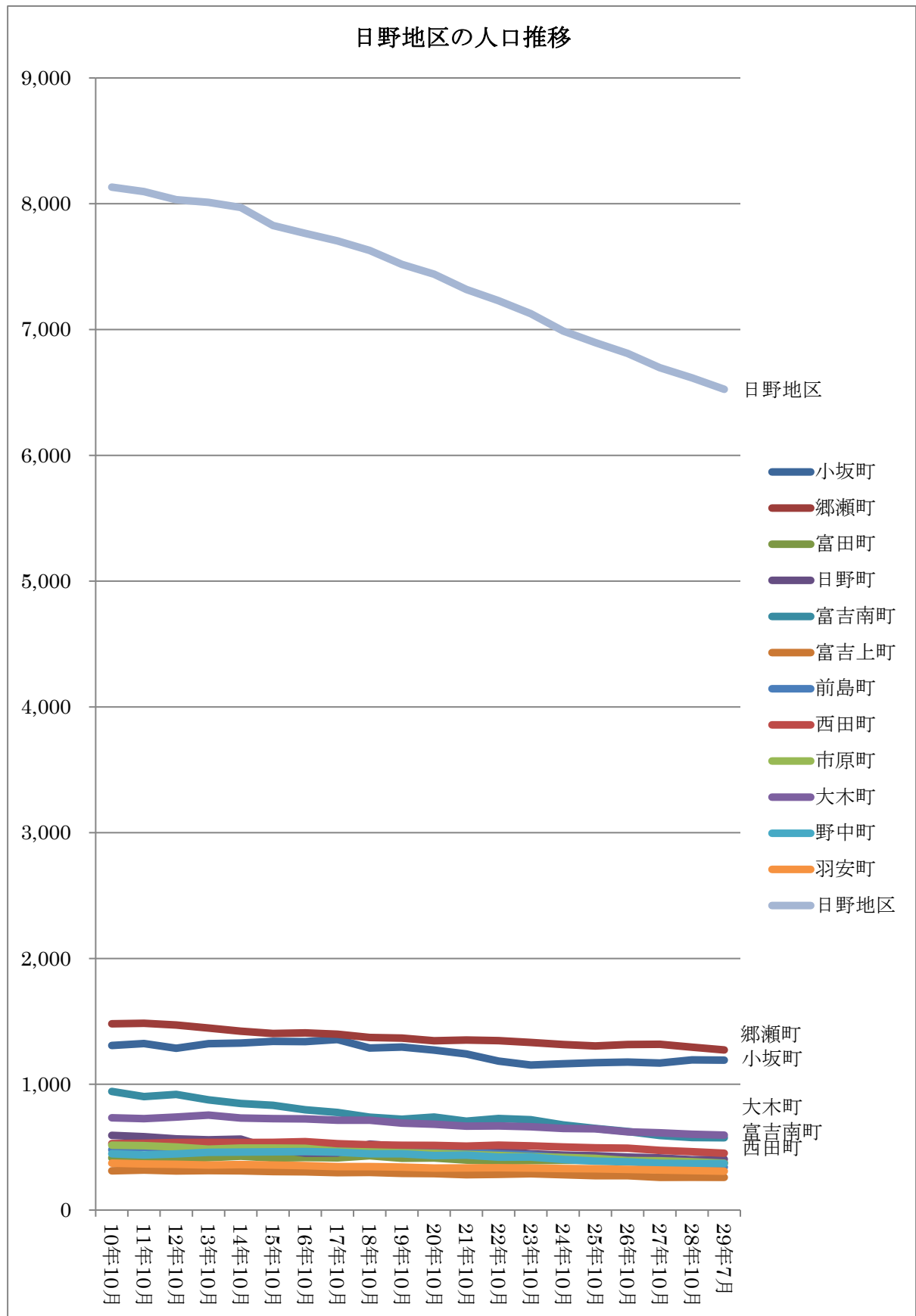
### 3-3. 第3回計画策定委員会での検討「人口動態の確認 | 取組むべき課題の抽出」

委員会では、地域づくりの計画を進めるにあたり、改めて日野地区の課題を抽出する作業を行うこととしました。ただし、その前に、日野地区の現状を正しく知りたいという検討委員の意見により、日野地区をデータで見ることにしました。

アドバイザーの支援のもと、日野地区の人口データを確認しました。

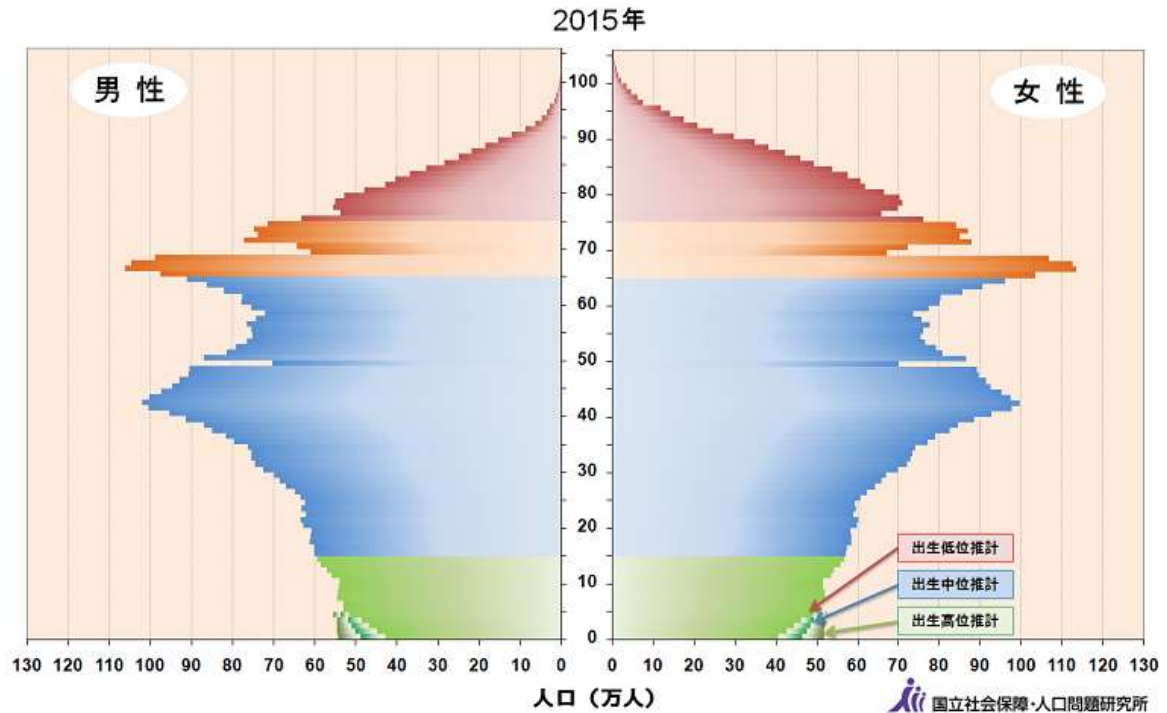


# データで見る日野地区

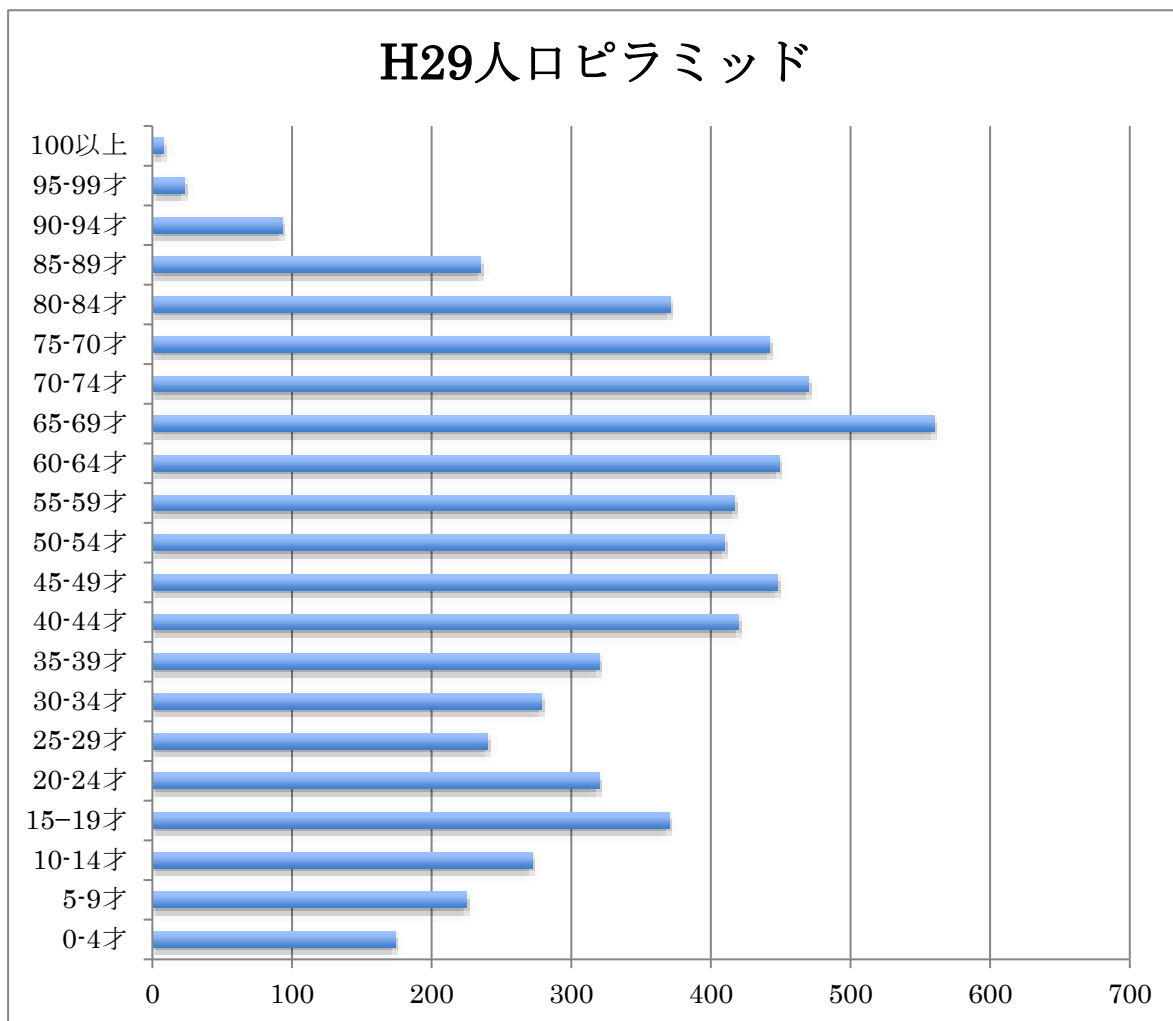


日野地区の年齢別人口の推移

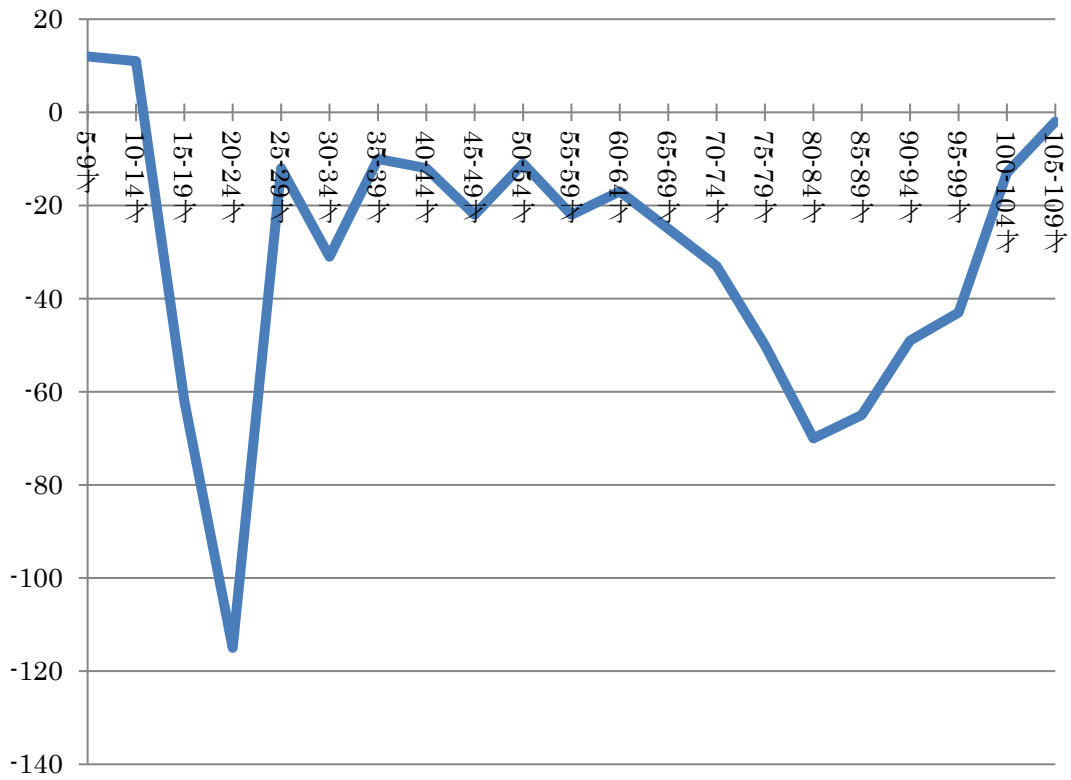




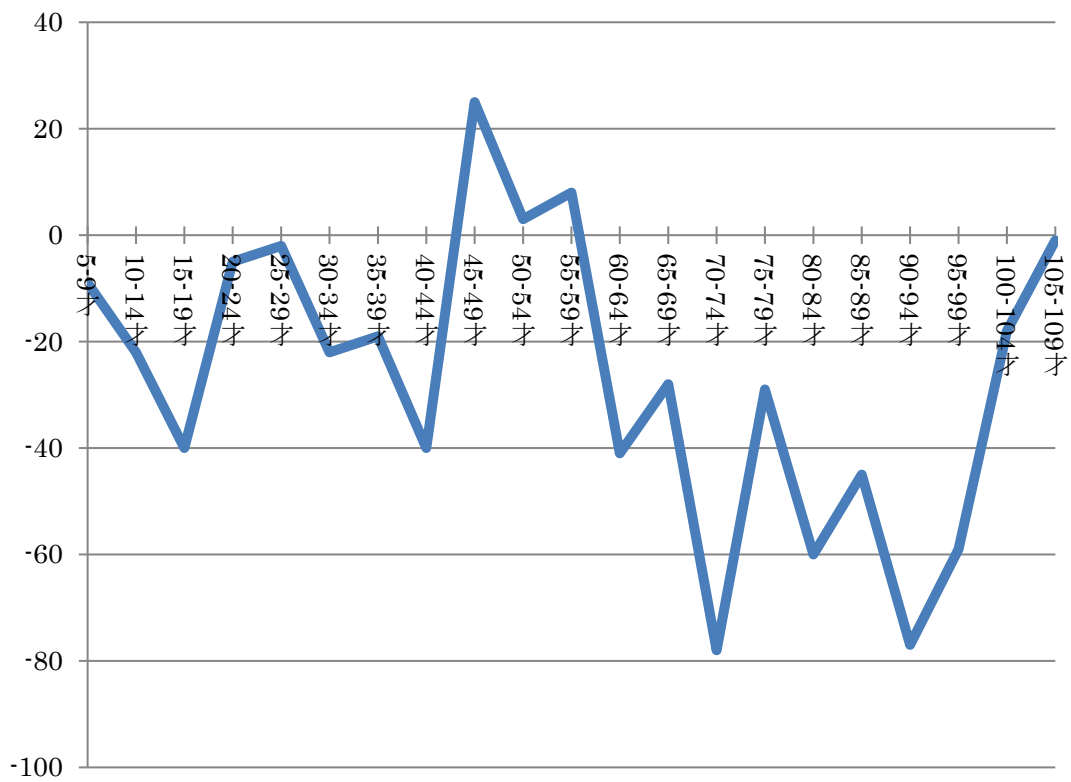
資料：1920～2010年：国勢調査、推計人口、2011年以降：「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」。

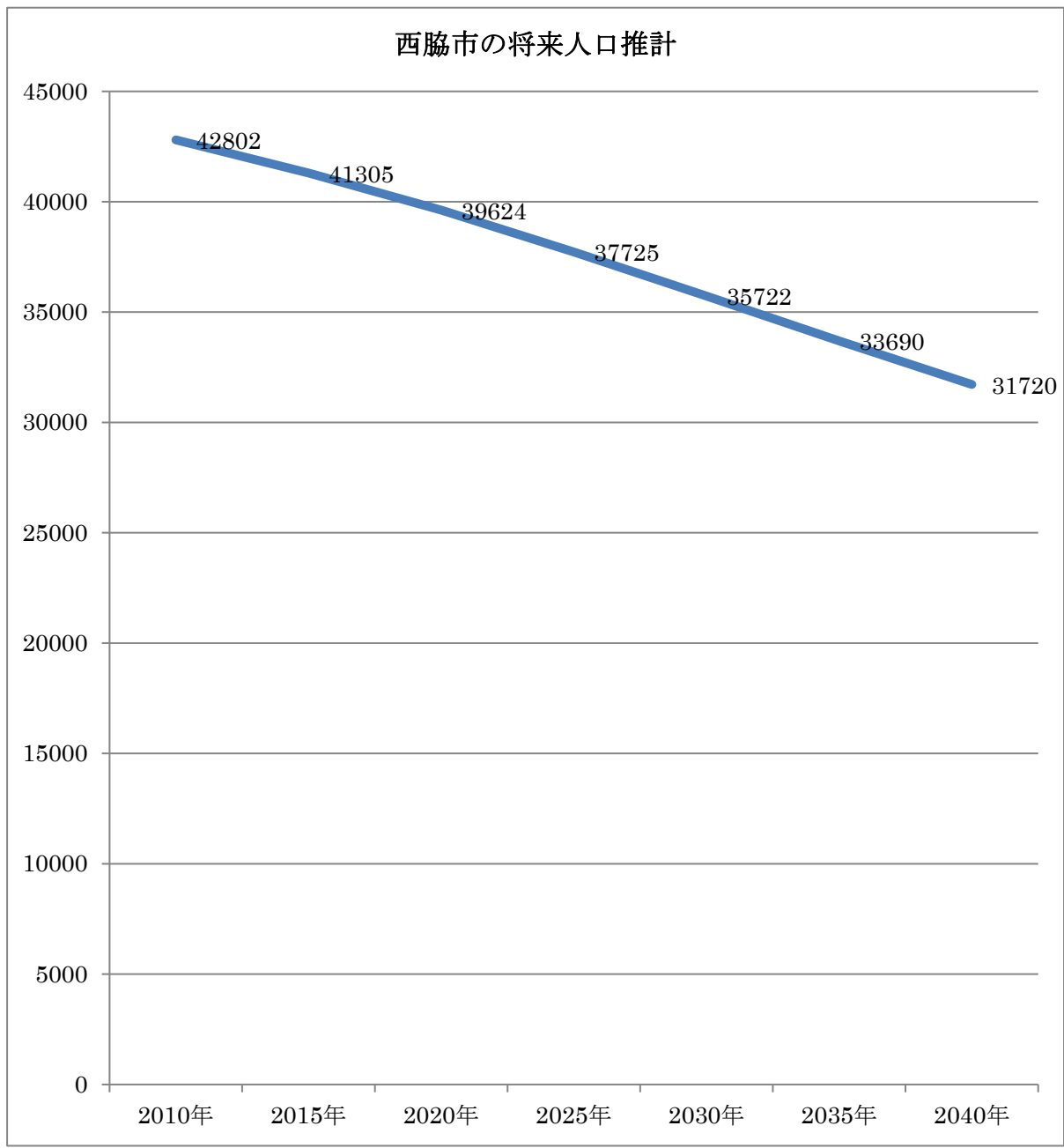


日野地区の簡易コーホート分析 (H17-H22)



日野地区の簡易コーホート分析 (H22-H29)





●課題の抽出

データを確認した後、委員全員で今後解決した日野地区の課題についてとりあげました。

まず、全員で自分が解決したい日野地区の課題を思いつく限り提出し、それをグループごとに、個人的に解決できる課題「自助」と、日野地区のみんなで解決すべき課題「共助」、市役所の助けがないと解決できない問題「公助」に仕分ける作業を行いました。

ここであげられた多くの問題点のうち「皆で解決すべきこと」が日野地区のまちづくりの中心的な課題となると考え、今後はこの公助の部分についてその解決策を考える作業をすることになりました。

この作業により、地域の皆さんが課題と感じているものが明らかになり、それぞれの課題がどれだけ重要で、その課題の解決にどれくらいの時間と労力がかかるのかが明らかになりました。特に重要ですぐにも取り組むべきものとしては、子供たちの安全や、高齢者のケア、地域活動への参加促進、杉原川の整備などがあげられました。

	自助		共助			公助
1班		草刈りがしんどい	各町の神社等のマップをつくりたい 人の交流が少なくなっている 地域の特産品づくり（農会等で行く）が必要 地域の活動が今後も継続できるか心配		公共交通が不十分（今後子供たちが学校統合で遠くへ行かなければならなくなる） （高齢者が増え、買い物・病院等へ行くのに必要になる）	道路の整備が遅い 街灯が少ない 大雨のそなえが不十分 杉原川の防災対策が遅れている
2班	町内に昼間若者がいない 子供の数が増えるといい		行事の参加者が少ない（自主的に参加しない） 人集め（参加人員の確保）が課題 イベントなどの準備がたいへん 行事・会合の参加者が限られている	役員のなり手がいない 役割分担（一人一人の自覚） 自治会に対する関心がない 各活動に参加する人が少ない		高齢者の憩いの場が少ない 地元で職場が少ない
3班		みんなあまえないで！	人と人のつながりが希薄になっている 老人会や婦人会などが活発になるように 高齢者のまちづくりへの参画 高齢者のまちづくりへの参画意欲が少ない 団塊の世代以上の意識改革が必要 壮年層人口減、一人当りの負担が増大している 自助・共助・公助のバランスが昔のまま （人口動態に沿ったやり方を考える必要がある）	子供の人数が減っている 子供が地元で定着しない 町の役員のなり手が少ない	集客施設を増やす工夫が必要 杉原川をもっときれいにしたい	河川の改修（はんらん防止対策）が遅れている 防犯カメラをもっと設置してほしい



### 3-4. 第4回計画策定委員会での検討「取組むべき課題の重要度の評価」

第4回の検討委員会では、前回「共助」の課題として選んだ課題の中から、班ごとに課題を分類する作業を行ないました。1つ1つの課題を取り上げ、それがどれくらい重要か、どれくらい解決しやすいかを話し合いによって決め、それをグラフ上に表していきました。

また、その上で最も解決したいと思う課題を班で1つ選びました。そして最後にその課題の解決方法を、自由な発想でたくさんアイデアを出す手法を用いて、グループごとに検討しました。

その結果は以下の通りです。

#### 1班

#### 課題の重要性グラフ

1班



#### 選んだ検討テーマ

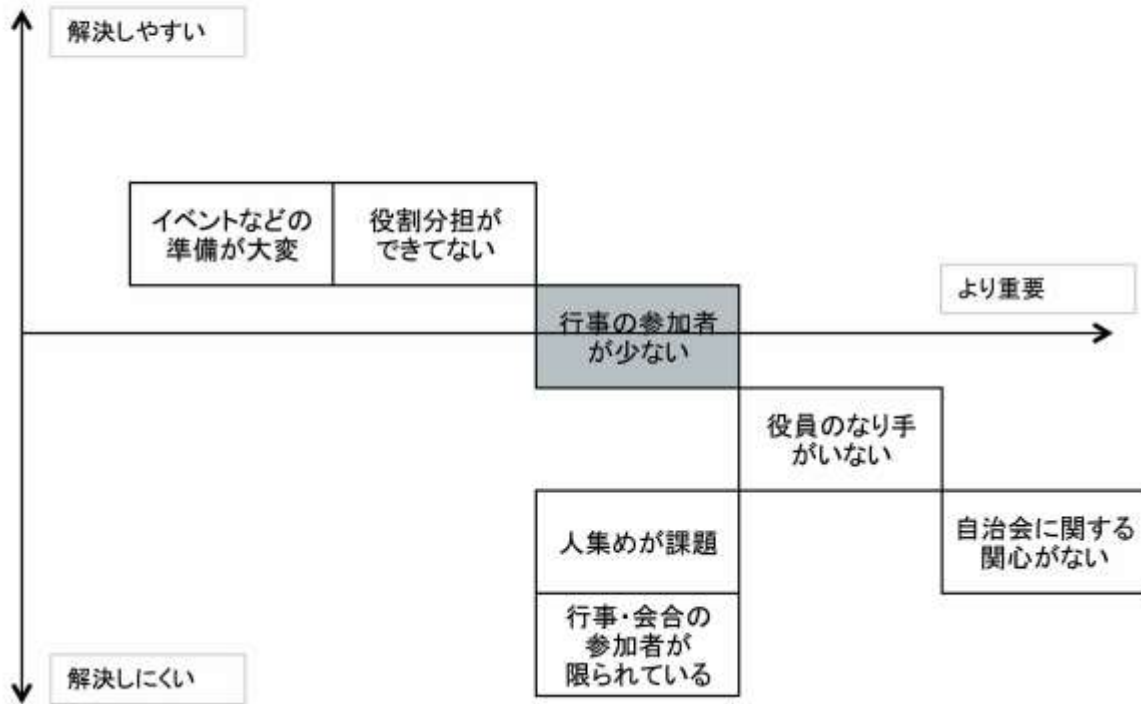
#### 「神社マップをつくりたい」

- 各町の神社の把握
- 神社の位置を調べる
- どこに何があるか調査
- 重要な彫刻を調査
- 各神社の歴史を調べる
- 地元の人に話を聞く
- 子供の頃に遊んだかどうか
- お年寄りから昔の話
- 各町から歴史文化の提案を

- 航空写真を撮る
- きれいな写真を撮る
- 社寺古墳の年表を作成する
- 神社の掃除は誰か
- ウォーキングの人にコース案内
- スタンプを作りスタンプラリー
- 子供と高齢者の交流の場にする
- 各町の祭の日時を調べる
- 各町の祭の様子を調べる

課題の重要性グラフ

2班



選んだ検討テーマ

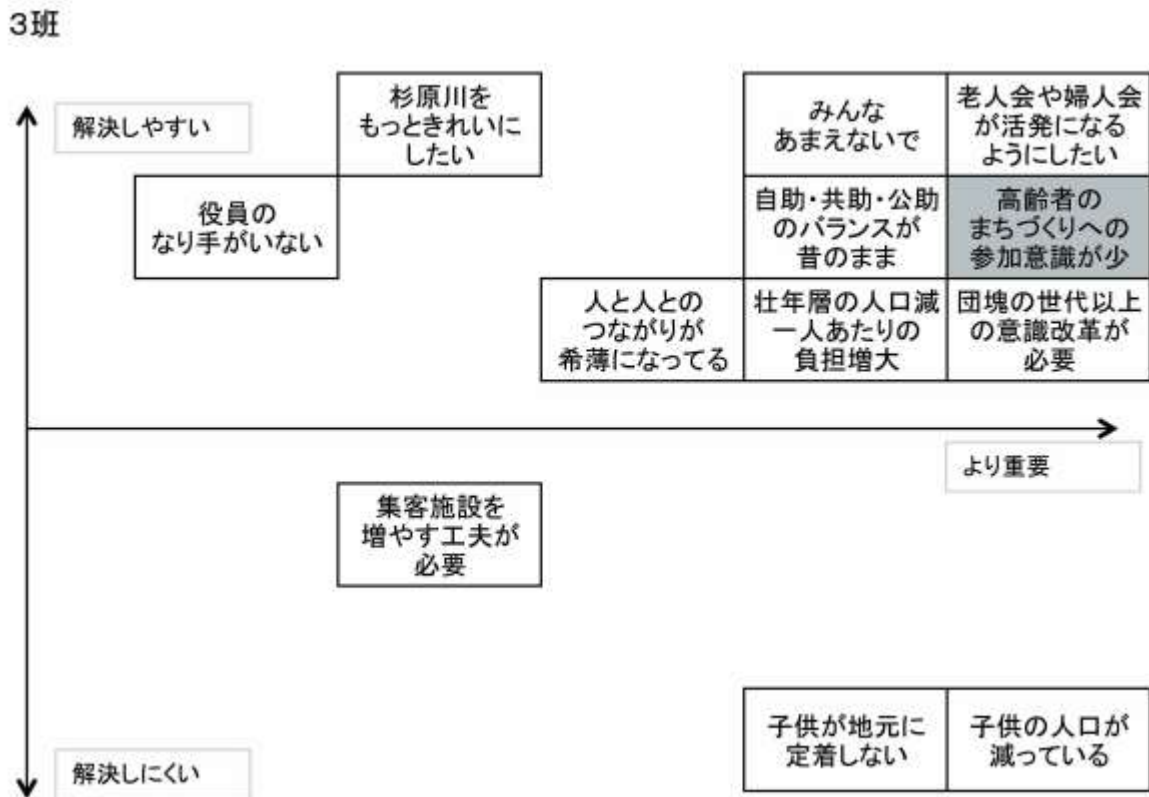
「行事の参加者が少ない」

- 興味のある課題にする
- 楽しいことを増やす
- ほんとうにやりたい人が中心になる
- 子供の参加を増やす
- なくてもよい行事なのでは
- 町でやること・地域でやることの違い
- 回覧や放送などを通じて何度も伝える
- イベントの案内を多くする
- 1人が2人にその2人がまた2人に
- 対象年齢を広げる
- 思い切って何もしない（町の行事のみ）

- 終わった後に礼を言い、よさを伝える
- 普段からコミュニケーションをこまめに
- 人間関係の構築
- 当番制にする
- 景品を多く出す（景品で釣る）
- 参加者には日当を払う
- とにかくお願いする
- 強制的に参加させる
- 不参加者から罰金をとる
- 自ら色々なイベントに参加する

### 3班

#### 課題の重要性グラフ



#### 選んだ検討テーマ

「高齢者のまちづくりへの参画」(10年後に概ね65才以上になる人)

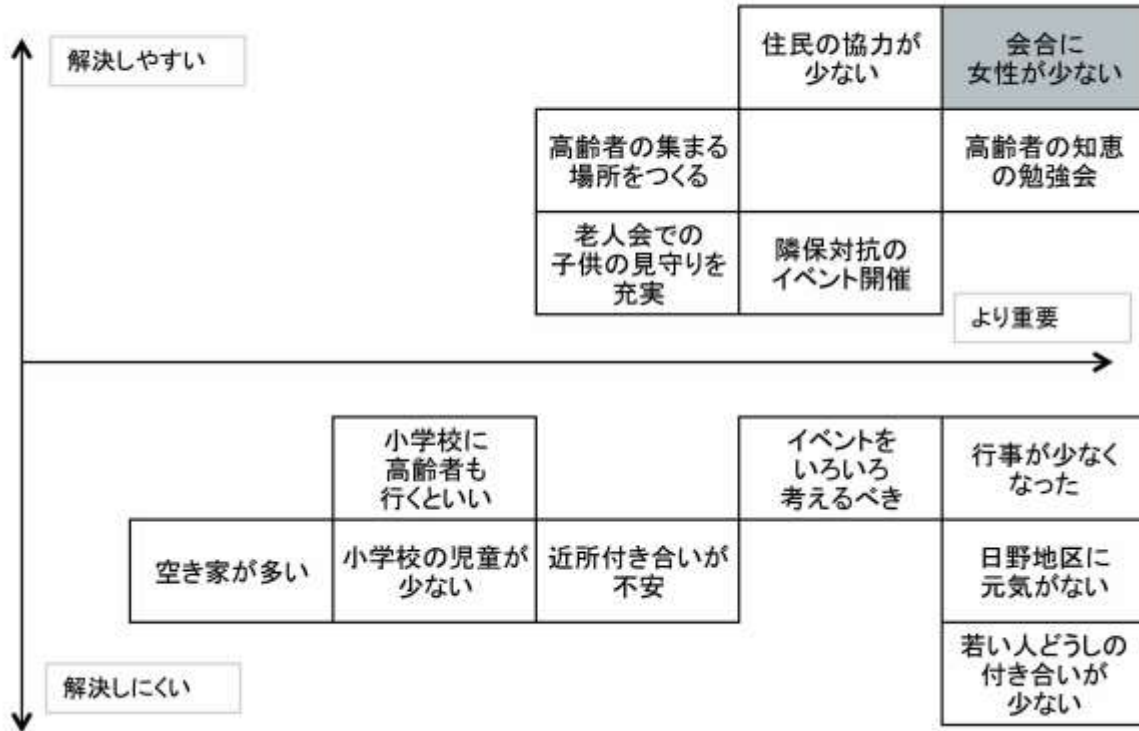
- 地区の行事に積極的に参加する
- 行事等の多くの人への参加呼びかけ
- 町の行事に参加してもらう
- 年代対抗グランドゴルフ大会の開催
- 高齢と言わず何でも参加してもらう
- 高齢者中心の交流会の開催
- いきいきサロンの活性化
- お茶のみサロンを定期的に開く
- 高齢者向け勉強会の開催
- サークルを作る (将棋とか)
- 仲間づくりをする

- 活動の場づくり
- 老人会と子供会の交流
- 子供との交流の場をつくり
- 様々な人を知る・接する・理解する
- 年齢を超えた交流
- 老人会という名称を変える
- 団塊の世代の意識づくり
- 甘えない気持ち (自分の事は自分で)
- 健康であること (ボケない)
- 笑いの場が必要
- アメ (ごほうび) を与える

## 4班

### 課題の重要性グラフ

4班



### 選んだ検討テーマ

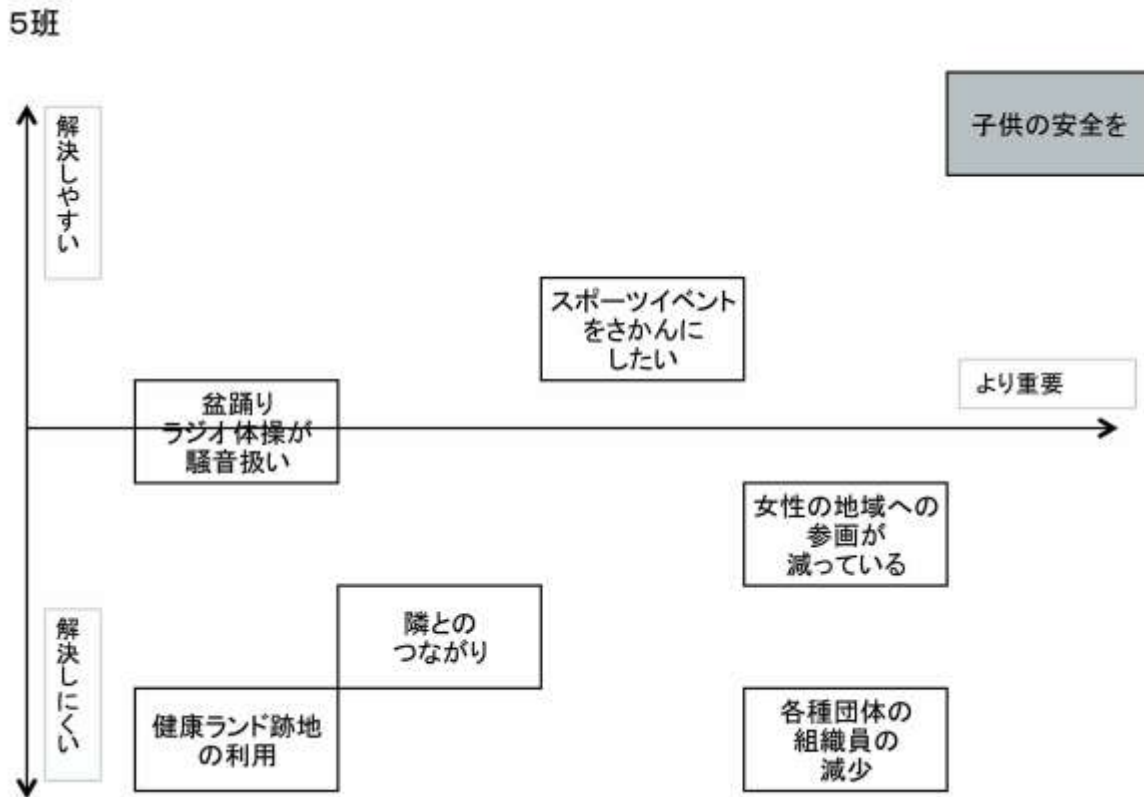
#### 「会合に女性を参加させたい」

- 1人ずつ連れてくる
- 各町の女性の団体に声をかける
- 子供と一緒に参加できるようにする
- 子供を人質にするような催しにする
- 時間帯を考えて欲しい
- 平日の夕方に開催する
- ダイエット講座

- 家族分の弁当を出す
- 食事を出す
- 料理教室を開催
- 年代別に会議をする
- 嫁と姑を一緒にしない
- 20才代限定の会合にする
- 元気なおばちゃんを連れてくる

## 5班

### 課題の重要性グラフ



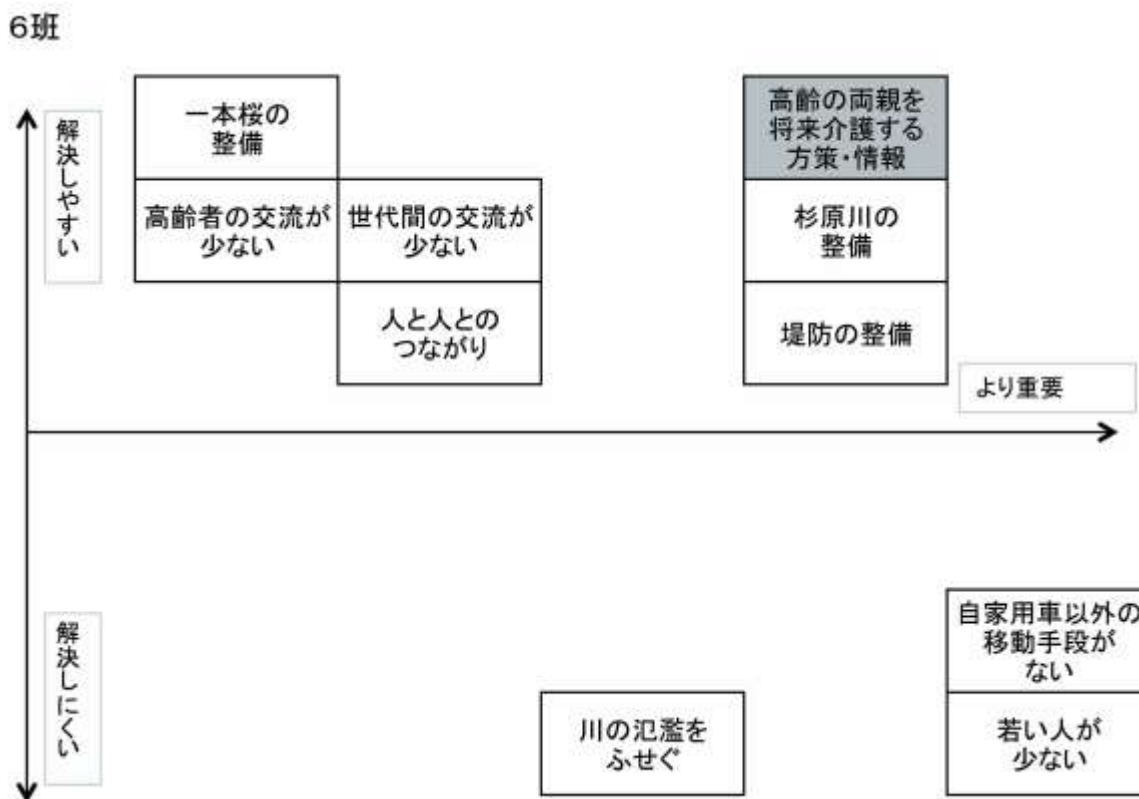
### 選んだ検討テーマ

#### 「子供の安全を実現したい」

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 危険箇所の点検</li> <li><input type="checkbox"/> グリーンゾーンを増やす</li> <li><input type="checkbox"/> 老人会を使う</li> <li><input type="checkbox"/> 道路整備</li> <li><input type="checkbox"/> 河川の整備</li> <li><input type="checkbox"/> 溝等の転落防護柵</li> <li><input type="checkbox"/> 子供への交通ルール等の教育</li> <li><input type="checkbox"/> 通学時間帯の警察による取締強化</li> <li><input type="checkbox"/> 防犯灯の整備</li> <li><input type="checkbox"/> 自分で身を守る術を身につけてもらう</li> <li><input type="checkbox"/> 日野地区全員で子供を見守る</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 危険区域の表示</li> <li><input type="checkbox"/> 子供に会ったらあいさつする</li> <li><input type="checkbox"/> 交通安全教室（自転車）</li> <li><input type="checkbox"/> 危険物の撤去</li> <li><input type="checkbox"/> 過度な除菌をやめ免疫体質を育てる</li> <li><input type="checkbox"/> 草刈り</li> <li><input type="checkbox"/> スクールゾーン</li> <li><input type="checkbox"/> 車・バイク・自転車に気をつける</li> <li><input type="checkbox"/> 知らない人に誘われてもついていかない</li> <li><input type="checkbox"/> 色々経験して色々覚えてもらう</li> <li><input type="checkbox"/> 遊び場を増やす</li> </ul> |
|--|--|

## 6班

### 課題の重要性グラフ



### 選んだ検討テーマ

#### 「高齢の両親を将来介護する方策・情報が欲しい」

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> デイサービス等の情報一覧</li> <li><input type="checkbox"/> 市に聞く・行政からの情報を得る</li> <li><input type="checkbox"/> 定期的に情報が入って来るシステム</li> <li><input type="checkbox"/> インターネットで調べる</li> <li><input type="checkbox"/> 介護職員から情報を得る</li> <li><input type="checkbox"/> 早期からの勉強会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 介護用品を提供している業者からの情報</li> <li><input type="checkbox"/> 介護士に聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 介護施設の経営面などの情報</li> <li><input type="checkbox"/> 今介護している人に聞く</li> <li><input type="checkbox"/> 老人会等で話を聞く</li> </ul> |
|---|--|

作業の結果、地域の皆が解決したい課題はいくつかのテーマに分けられそうなことや、その重要制について地域の皆さんがどう捉えているのかが分かった。そこで、これらの課題を整理し、テーマごとに議論を重ねていくこととした。

### 3-5. 第5回計画策定委員会での検討「基本方針素案の確認 | キャッチコピーの検討」

第5回の計画策定委員会では、アドバイザーが整理し分類した基本方針の素案をもとに、それぞれのテーマにキャッチコピーをつけることにした。計画全体のキャッチコピーも本来ならば必要だが、それは平成19年度に策定した「よいとちがうか日野の里 明日に向けて手をつなごう」をそのまま踏襲することとした。

#### 基本方針(素案)のテーマそれぞれのキャッチコピーの検討とシール投票の結果

##### ①地域の皆が、できるだけ積極的に地域活動に参加している状態をつくる

キャッチコピー	投票数
協力して自ら行う地域活動の創造	0
みんなでやろう！積極的なまちづくり	5
参画と協働のまちづくり	3
ひとりひとりの参加で元気な日野の里	6
<b>あったらいいなを形にしよう 日野の里</b>	<b>8</b>
みんなでつくろう地域活動 日野の里	4

##### ②お年寄りが不便を感じずに、若者が住み続けたいような状態をつくる

住民自ら ユートピアの創造	0
みんなでつくろう！住みよいまちづくり	2
住み続けたいまちづくり	7
不便でも住み続けたい日野の里	2
地域みんなで助け合い きずなを育もう	4
<b>おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里</b>	<b>11</b>

##### ③子供たちの安全に育ち、地域に誇りを持って成長できるような状態をつくる

他地域に自慢できる住民意識の創造	0
みんなで育てよう！安全でほこりあるまちづくり	6
安全安心でほこりのもてるまちづくり	3
行ってみたい、寄ってみたい日野の里	4
若き思い出が一生残る日野の里	3
<b>おらが里 自慢できる日野の里</b>	<b>10</b>

##### ④地域の皆が元気で、大きな不便を感じることなく暮らしていける状態をつくる

健康はつらつ 生きがいの創造	0
みんなががんばろう！快適なまちづくり	1
元気で生活に優しいまちづくり	2
<b>おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里</b>	<b>10</b>
助け合い、声かけあって元気よく	5
百歳まで現役 日野の里	5

上記で決まった各テーマ別のキャッチコピーを整理して、テーマ別に課題を並べ直したものは、以下のようにまとめることができる。これをさらに整理して、まちづくり計画の素案とすることとした。

### 【住民参加のまちづくり】

## あったらいいな を形にしよう 日野の里 ～地域の皆が、できるだけ積極的に地域活動に参加している状態をつくる～

共同の作業（草刈等）の負担を軽減する	地域住民の自治会への関心を深める
・イベントの役割分担   回数	行政と地域との役割分担を明確にする
現在の地域活動をできるだけ軽減する	会合への女性の出席を増やす
地域内の交流を充実させる	女性の役員を増やす
行事への参加者をできるだけ増やす	スポーツイベントをさかんにする
役員の引き受け手を育てる	各種団体の組織員を維持する工夫をする

### 【全ての人々が住み続けたいくなるまちづくり】

## おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里 ～お年寄りが不便を感じずに、若者が住み続けたいくなるような状態をつくる～

公共交通が不十分	お年寄りから教わる機会をつくる
高齢者の見守り活動を充実させる	老人会や婦人会活動をより活発に
お年寄りが子供たちの見守りをする	多くの世代で参加意識を高める
お年寄りの集まれる場所を増やす	世代間交流を充実させる

### 【子供たちが誇りを持てるまちづくり】

## おらが里 自慢できる日野の里 ～子供たちの安全に育ち、地域に誇りを持って成長できるような状態をつくる～

もっと元気のある地区にする	子供たちの数を増やす
集客施設を増やす	子供たちの定着率を高める
地域の特産品づくりを進める	健康ランド跡地のり活用
地域資源のマップを作成する	一本桜の整備
杉原川をもっと美しく保つ	杉原川の整備・堤防の整備

### 【安全で安心して暮らしやすいまちづくり】

## おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里 ～地域の皆が元気で、大きな不便を感じることなく暮らしていける状態をつくる～

意識改革をする
人と人とのつながりを取り戻す
新しい近隣の人付き合いの形を考える
新しい近所付き合いの形を考える
若い人どうしの付き合いを深める
空き家が増えている問題を解決する

### 3-6. 第6回計画策定委員会での検討「計画案【素案】の検討(地区できそうなこと)」

第6回の委員会では、アドバイザーが整理した計画案(素案)をもとに、地区内で具体的にできそうなことはあるかなどについて話し合いを行いました。素案および、皆さんから出た意見は以下の通りです。

## [住民参加のまちづくり] あったらいいなを形にしよう 日野の里 ～地域の皆が、できるだけ積極的に地域活動に参加している状態をつくる～

#### ◎地域活動に参加しやすい環境をつくる取り組み

地域活動に参加する負担をできるだけ軽減し、参加者を増やす工夫をする

##### 地域内でできそうなこと

- イベントの役割分担を見直す
- 行政と地域の役割分担を明確にする
- 会合への女性の出席を増やす
- 女性の役員を増やす
- 役員の引き受け手を育てる

地域住民の自治会への関心を深める

##### 地域内でできそうなこと

#### ◎地域活動団体を見直し、活動を活性化・継続するための取り組み

地域活動の団体の構成を見直し、地域に合った団体構成を目指す

##### 地域内でできそうなこと

- 婦人会・女性会の統合により、負担を軽減し継続できる環境をつくる
- 老人会の活性化を図り、高齢者が地域で活動しやすい環境をつくる

各団体の組織員を維持する工夫をする

##### 地域内でできそうなこと

- 多くの世代で参加意識を高め、協力する人を増やす

#### ◎より多くの人々が地域活動に参加できるような取り組み

地域の皆が興味を持って参加できるようなイベントを開催する

##### 地域内でできそうなこと

- 「地域カルタ」をつくってカルタ大会を開催 | スポーツイベントを盛んにする

[全ての世代が住み続けたいくなるまちづくり]  
**おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里**  
～お年寄りが不便を感じずに、若者が住み続けたいくなるような状態をつくる～

◎**地域内外の交通環境を充実させるための取り組み**

公共交通の充実を、市役所・交通事業者に要望する  
コミュニティバスなどの運営について検討する

**地域内でできそうなこと**

- 地域内の互助的な交通手段(買い物・通院)の実現を検討する

◎**高齢者・子供たちの見守り活動を充実させるための取り組み**

いきいきサロンの充実により、より多くに人々の参加を促す

**地域内でできそうなこと**

- 各種の趣味サークル、趣味の教室を開催し、教え教えられる関係をつくる
- お年寄りから教わる機会をつくる

高齢者の見守り活動を充実させる

**地域内でできそうなこと**

- お年寄りの集まれる場所を増やす
- 老人会・婦人会の活動を活発にする

子供たちの見守り活動を充実させる

**地域内でできそうなこと**

- お年寄りが子供たちを見守ってくれる仕組みをつくる

[子供たちが誇りを持てるまちづくり]

## おらが里 自慢できる日野の里

～子供たちの安全に育ち、地域に誇りを持って成長できるような状態をつくる～

### ◎地域への来訪者を増やすような取り組み

集客施設を増やす

地域の特産品づくりを進める

地域内でできそうなこと

- 地域資源のマップ作成をする
- 健康ランド跡地の利活用について提案する

子供たちの数を増やす | 若者が定着するような工夫をする

地域内でできそうなこと

### ◎自慢できる住みよい日野地区を実現するための取り組み

暮らしのマナーを守り育てる

地域内でできそうなこと

地域の歴史・文化を保存・継承するための方策を検討する

地域内でできそうなこと

- 神社マップの作成
- 各地区のまつりをお互いに訪れるなどして、地域をつなげる努力をする
- 一本桜の整備について提案する



[安全で安心して暮らしやすいまちづくり]  
**おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里**  
～地域の皆が元気で、大きな不便を感じることなく暮らしていける状態をつくる～

◎杉原川を安全に保つための取り組み

杉原川の整備を、市役所・河川管理者等に要望する

杉原川をもっと美しく保つ

地域内でできそうなこと

◎地域の遊休資源の有効活用を進めるための取り組み

空き家問題を解決する

地域内でできそうなこと

◎世代間の交流を充実させる

多くの世代で地域コミュニティへの参加意識を高める

地域内でできそうなこと

◎新しい地縁社会をつくるための取り組み

意識改革をする

地域内でできそうなこと

人と人とのつながりを見直し、新しい近隣の人付き合いの形を考える

世代を超えたつながりを深める

地域内でできそうなこと

若い人どうしの付き合いを深める

地域内でできそうなこと

### 3-7. 第7回計画策定委員会での検討「計画案【素案】の検討(意見交換)」

第7回の委員会では、これまでの議論をもとに、アドバイザーがまとめたまちづくり計画素案に対し、参加者全員で意見交換をしました。委員の皆さん出た主な意見は以下の通りです。

#### 基本方針(素案)ごとに意見交換

##### **基本方針1[住民参加のまちづくり]**

- ◎女性を増やす←難しい
  - ・会議の時間→出やすい時間を考えよう
  - ・男性でも年金暮らしなら出てこれるかも
  - ・若い人は忙しい、なかなか出て来ない→こういう人が出て来れる工夫を→時間、曜日など「出やすい問題」
- ◎年中行事・イベント役割
  - ・前日、当日、片付け、確認しているが…  
→やる事を細かく知らせる(手伝いの中身を見せる、細切れにするとよいかも)
  - ・協力してくれる人は同じ顔ぶれ  
→新顔が見えたら大歓迎する、働いてる人が楽しそうにしていると良い
- ◎大きな組織を動かすリーダーが育たない
  - ・お手伝いならしてくれる  
→1人2人に負担がかかるので出ない、役割を分担できると良い
  - ・関心を深める。役員を無理矢理引き受けさせる(有る程度強制も必要)
  - ・皆が参加出来るよう、有る程度強制的なしかけ→分ってもらう
- ◎町単位の婦人会の復活(可能か?)
  - ・PTAとの関係(組織構成)
  - ・女性の参加、全体会議から参加
  - ・提案したら動く

##### **基本方針2[全ての世代のまちづくり]**

- ◎高齢者グラウンドゴルフ(110人/毎月)
  - ・日野団体戦、元気な人はいる  
→出てくるがリーダーにはならない
  - ・グラウンドゴルフだけやっていることもある
  - ・続いているならリーダーがいなくても
- ◎老人会が復活したところもある
- ◎いきいきサロン充実←活用できているところはある
  - ・活発にしているところを見に行ってもらうなど、隣の町内でどうしているかをちゃんと知る
  - ・子ども(地藏盆)→じじばばを連れてくる
  - ・一緒に楽しめると良い、子どもとセット→子どもと老人を友達にする
- ◎高齢者と子ども
  - ・趣味: グラウンドゴルフ
  - ・子ども会: 遠足など
  - ・やってる人はやってる。それぞれには頑張っているけど、全体的になっていない。
  - ・子供たちによる地域貢献も考えたい  
→地域に出てくるのが大事
- ◎趣味教室
  - ・お年寄りが学校でしめ縄を教える。教えるの大事。
  - ・農業体験: 3年生さつまいも、5年生田植え
  - ・太陽の会: みんなが忙しくやっている。各会はそれぞれ活躍。横のつながりがない  
→お互いの活動を知る→日野全体で連携する
  - ・組織構成の見直し

- ・いろいろな活動のリストアップ
- ・頑張っている人たちを褒める仕組み
- ◎敬老会がない所はどうするのか
- ・若者が住み続けたいくなる状態→働く場所  
→ここが大事

### **基本方針3[誇りを持てるまちづくり]**

- ◎子どもの数を増やす→現状無理
- ・子どもをもっている家族が住みやすくする
- ・子持ち家族を増やす
- ・空き家を安く提供してあげるとか、保育無料など
- ・空き家を調査したらしい
- ◎マナーの件
- ・夏に会館のロビーで勉強→だんだんわがままに  
→子ども達は教えたらできる。ちゃんと伝えるべき
- ・嫌われたくない、わかるとるやろ、がNG
- ◎自慢できる資源をマップに
- ・子ども老人→地域探検隊を組織
- ・教えてもらいながらまちの中を歩く
- ・楽しそうなので各地区で、お互いに訪問する
- ◎子どもを増やす若者、空き家の貸し出し、外国人労働者受け入れ
- ・挨拶は大切→顔の見える関係に
- ◎地域の歴史文化の保存
- ・地蔵盆マップ
- ・他の地区を受け入れているか、やっているのか調査する（お互いに把握していない）
- ・各町のお宮さん、遊び場、おまつり→神社マップの作成は大切
- ・一本桜：整備は樹木医に世話してもらっている→60年の老木を手入れ中  
→枝から新しく育てている（保育園、小学校）  
→日野のシンボルにしよう

### **基本方針4[安全で安心なまちづくり]**

- ◎安全安心
- ・情報の共有はできている
- ・防犯協会、交通安全協会、青少年補導委員、子どもの見守り隊など年3回会合で勉強している
- ◎空き家
- ・資源とみるかどうか、やっかいな存在 | 近隣から苦情が出ている
- ・まちから移住する人は少ないのでは
- ・空き家は誰かの所有物で勝手に出来ない→行政の仕事
- ◎杉原川
- ・年2回の活動：クリーン作戦
- ・もっときれいにするには何をしたらよいか→花を植える、魚が泳ぐ（鮎がいる）
- ◎子どもの遊び場が「道」
- ・限られてる、安全に遊べる場を
- ◎歩道の狭い道をなんとかしたい
- ◎交通事故（大きな）があった
- ・スリーゾーン（30km/h制限）のところが抜け道 | 車のスピードが速く危険
- ・通学路、登校時間は通れないはずなのに守られていない

## 4. 日野地区まちづくり計画

[ 1. 住民参加のまちづくり ]

### あったらいいな を形にしよう 日野の里

～地域みんなが、できるだけ積極的に地域活動に参加している状態をつくる～

#### (1) 地域活動に参加しやすい環境をつくる取り組み

##### ① 地域活動に参加する負担をできるだけ軽減し、参加者を増やす工夫をする

＜活動している人が楽しそうにやっていることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- イベントの役割分担を見直そう
- 行政と地域の役割分担を明確にしていこう
- 会合への女性・若手の出席を増やそう  
→ 出やすい時間帯に設定するなどの工夫が必要
- 役員の引き受け手を育てていこう

##### ② 地域住民の自治会への関心を深める

＜自治会などが、どんなことをしているのかを知ってもらうことが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 行事などの「お手伝い」から参加してもらおう  
(1人2人に負担がかかるのではなく、役割を分担できるようにする)
- すべきこととして欲しいことを具体的に。作業を細切れにして依頼しよう  
(1日丸々出てきて欲しいというと、負担が大きいので負担を軽減する)
- ある程度強制的なしかけも必要

##### ③ 地域みんなが興味を持って参加できる、世代をこえたイベントを開催する

＜各世代のみなさんがどんなことに興味をもっているのかを知ることが大切＞

地域内でできそうなこと

- 地域活動に関するアンケート調査を行おう
- 「地域カルタ」をつくって大会を開こう | スポーツイベントを盛んにしよう
- イベントの企画を、若い人たちに考えてもらえらる方策を検討していこう
- 若い人どうしの交流が増えるようなきっかけづくりを行っていこう

#### (2) 地域活動団体を見直し、活動を活性化・継続するための取り組み

##### ① 地域活動の団体の構成を見直し、地域に合った団体構成を目指す

＜地域内の各団体がやっていることや、その運営の苦労を皆で知ることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 婦人会・老人会の統合により、負担を軽減し継続できる環境をつくろう
- PTAとの連携の方法を探り、協働の関係をつくっていこう
- できるだけ団体の組織員を維持する工夫をしよう

[2. 全ての世代が住み続けたいくなるまちづくり]  
**おじいちゃん、おばあちゃん、みんなで暮らす日野の里**  
～お年寄りが不便を感じずに、若者が住み続けたいくなるような状態をつくる～

(1) 地域内外の交通環境を充実させるための取り組み

- ① 公共交通充実を市や交通事業者に要望
- ② 地域バス等の運営について検討する

＜まずは地域の皆で、問題や知恵を共有することが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 研究会・勉強会などを開催しよう(他地域との連携の方法も模索する)
- 地域内の互助的な交通手段(買い物・通院)の実現を検討しよう

(2) 高齢者・子どもたちのふれあい活動を充実させるための取り組み

- ① いきいきサロンなどの充実により、より多くに人々の参加を促す

＜活発な活動が行われていることを、お互いに知ることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- サロンやサークルは活発なところもある。お互いに訪問しあおう  
(お互いの活動を知る機会をつくる)
- 各種の趣味サークル、趣味の教室を開催し、教え教えられる関係をつくろう  
(グラウンドゴルフは活発なので続けていく)
- 老人会を復活しよう(難しいところは町をまたいだ統合老人会をつくる)
- お年寄りから若い人・子どもたちがいろいろと教わる機会をつくろう  
(小学校でしめ縄づくりを教える | 農業体験を充実させる)

- ② 高齢者や子どもたちの活動の場を充実させる

＜お年寄りと、若い人たちとの交流の機会が増えることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- お年寄りの集まれる場所を増やしていこう
- 老人会・婦人会の活動を活発にしていこう
- 子どもたちが地域に貢献できる機会を増やしていこう  
(子どもたちが地域からほめられるように)

- ③ 高齢者や子どもたちの見守り活動を充実させる

＜お年寄りや子どもたちが地域に関わり続けることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- お年寄りが子どもたちを見守ってくれる仕組みをつくろう  
(地蔵盆はよい機会。子どもたちと高齢者のつながりをつくれるようにする)
- お年寄りを見守るしくみをつくろう

### [ 3. 子どもたちが誇りを持てるまちづくり ]

## おらが里 自慢できる日野の里

～子どもたちが安全に育ち、地域に誇りを持って成長できるような状態をつくる～

#### (1)子育て世代が住みやすい日野地区を実現するための取り組み

##### ①子どもたちの数を増やす

＜子育て世代にやってきてもいいと思ってもらえることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 子どもの数を増やすのは難しいが、子持ち家族を増やすならできるかも知れない
- 子育て世代が何を求めているかを調査しよう(アンケートなど)
- 空き家を安く提供、家賃補助、保育無料などを検討しよう(空き家調査が必要)

##### ②若者が定着するような工夫をする

#### (2)自慢できる住みよい日野地区を実現するための取り組み

##### ①子どもたちが安全に遊べる場所をつくる。

##### ②地域の歴史・文化を保存・継承するための方策を検討する

＜地区のみなさんが地区のことをもっとよく知ることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 地域探検隊を開催しよう(お互いの地域を訪問してよく知り合う)
- 各地区のまつりをお互いに訪れるなどして、地域をつなげよう
- 神社マップを作ろう(各町のお宮、遊び場、お祭りの仕方などを掲載)
- 一本桜の整備のありかたを提案しよう(日野のシンボルにしていきたい)

#### (3)地域への来訪者を増やすような取り組み

##### ①集客施設を増やす

＜今あるものをどう活用したらいいかを考えることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 地域資源のマップをつくろう
- 健康ランド跡地の利活用について、みんなで考えて行政に提案しよう

##### ②地域の特産品づくりを進める



[4. 安全で安心して暮らしやすいまちづくり]  
**おはよう・おかえり あいさつで作る日野の里**

～地域みんなが元気で、大きな不便を感じることなく暮らしていける状態をつくる～

(1)暮らしのマナーを守り育てる取り組み

①あいさつは大切。あいさつを通じて顔の見える関係になる

＜地域内ではどんなマナーで暮らしたらいいかを伝えることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 子どもはマナーを知らないが教えればわかる。基本的なことも伝えよう
- 大人にも「そんなことは分かってるやろ？」と言わず、ちゃんと伝えよう

(2)地域住民が安全に移動できるようにするための取り組み

①歩道がない（または狭い）危険な道路はできるだけ安全にする

＜大きな交通事故が起きないためのハード・ソフト両面の取り組みが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 通学時の車の通行に関するルールを守ってもらう工夫をしよう
- 抜け道での車のスピードを落としてもらうような工夫をしよう

(3)杉原川を安全に保つための取り組み

①杉原川の整備を市役所・河川管理者等に要望する | 杉原川をもっと美しく保つ

＜杉原川の現状をできるだけ多くの人に知ってもらうことが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 杉原川の現在の状態を、地域の皆にできるだけ正確に伝えよう
- 年2回のクリーン作戦には、できるだけ多くの人に参加してもらおう
- 杉原川をよりきれいにするにはどうしたらいいかをみんなで提案し合おう

(4)地域の遊休資源の有効活用を進めるための取り組み

①空き家問題を解決する

＜勝手な提案はできないので、現状がどんな状況なのかを把握することが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 空き家所有者に意向調査をしよう(売る | 貸すつもりがあるか? など)
- 空き家を整備・提供するとした時に利用者があるかどうかを調べよう

(5)防犯・防災の取り組み

①防犯活動

＜犯罪のやりにくい地域だと思われることが大切＞

※地域内でできそうなこと

- 防犯活動をしていることをアピールしよう

②防災活動

＜災害時に手助けの必要な人がどこにどれだけいるかを知ることが大切＞

※地域内でできそうなこと

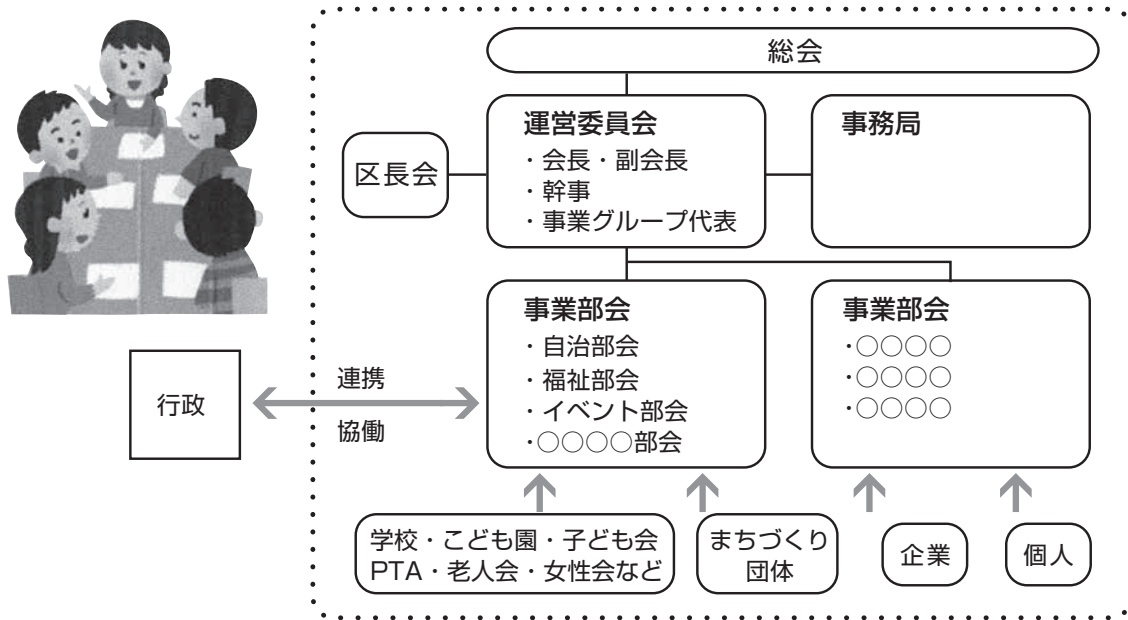
- 災害時に援護が必要な人の存在を明らかにしよう

## まちづくりを進める体制

日野地区においても少子高齢化や人口減少がどんどん進んでいます。皆さんがいつまでも日野地区に住み続けるためには、自分たちの暮らしを少し大きな単位で考え、地区の総合力を高めていくことが有効かも知れません。

今までより、さらにいろいろな人や組織の参画のもとにまちづくりを進められるように「地域自治協議会」の設立を検討します。

### ■地域自治協議会のイメージ（これはあくまでもイメージ図です）



## 取り組みのスケジュール

	短期	中期	長期		短期	中期	長期
<b>1. 住民参加のまちづくり</b>				<b>3. 子供が誇りを持てるまちづくり</b>			
(1) 地域活動に参加しやすい環境				(1) 子育て世代が住みやすい			
①地域活動への参加者を増やす	○			①子供たちの数を増やす			○
②自治会への関心を深める		○		②若者が定着する工夫		○	
③世代をこえたイベントを開催		○		(2) 自慢できる住みよい地区			
(2) 地域活動を活性化・継続する				①子供が安全に遊べる場づくり			○
①地域の団体の構成を見直す			○	②歴史・文化を保存・継承		○	
<b>2. 全世代が住み続けたいまちづくり</b>				(3) 地域への来訪者を増やす			
(1) 交通環境を充実させる				①集客施設を増やす			○
①公共交通充実を要望		○		②地域の特産品づくりを進める		○	
②地域バス等の運営を検討			○	<b>4. 安全で安心して暮らしやすいまちづくり</b>			
(2) 高齢者・子供たちのふれあい活動を充実させる				(1) 暮らしのマナーを育てる			
①いきいきサロンなどの充実		○		①あいさつで顔の見える関係になる	○		
②高齢者や子供たちの活動の場を充実	○			(2) 安全に移動できる			
③高齢者や子供たちの見守り活動を充実	○			①歩道がない道路を改善		○	
短期：短期課題（すぐにでも取り組めること）				(3) 杉原川を安全に保つ			
中期：中期課題（少し時間がかかりそうなこと）				①杉原川の整備を要望	○		
長期：長期課題（時間をかけてじっくりやること）				②杉原川を美しく保つ	○		
				(4) 遊休資源の有効活用			
				①空き家問題を解決			○
				(5) 防犯・防災			
				①防犯活動		○	
				②防災活動	○		

よいとちがうか日野の里  
 第2期まちづくり計画策定委員会  
 委員名簿

石井	満
石井	人
齋藤	藏
宇野	治
内橋	雄
宇仁菅	浩
大柿	喜代次
大畑	善裕
岡崎	年一
荻野	克弥
亀井	俊彦
川口	安太郎
北村	守人
小松原	壽
笹倉	倉孝
笹倉	康二
笹倉	泰彦
篠原	茂樹
杉岡	正政
杉本	本幸
杉本	重浩
多井	祐二
寺岡	原雄
萩原	井喜
藤井	英夫
藤井	益一
藤井	栄久
藤井	滋平
藤井	隆彦
藤原	武博
藤原	明雄
藤原	登和
米原	弘善
松原	康大
松上	上央
村上	上洋
村上	上隆
藪根	口光
山巻	重一
豊	

(順不同)

